

愛する人がいた　そして愛する人は逝ってしまった
自死　追い詰められた死を考える

日時：10月29日(土) 13:00～16:00

会場：ラポールひらかた大研修室(京阪枚方市駅・関西医科大学付属病院 隣)

プログラム

第1部 講演とパネルディスカッション

入場無料

寄付歓迎
どなたでも入場
できます

講演～「まさか」から始まった私の闘い～



弁護士 佃 祐世さん(はつかいち法律事務所所長)
つくだ さちよ

2007年4月、元裁判官だった夫を自死でなくす。
4児を育てながら、司法試験に挑戦、弁護士となった。
自死遺族支援弁護士団、広島弁護士会所属。

パネルディスカッション

「自死遺族の中にもある偏見、苦しい気持ちをどう伝えるか」

司会：清水新二(奈良女子大名誉教授、大阪市自殺対策委員)

1. 桑原正好(しまね分かち合いの会・虹代表)
2. 竹井京子(枚方 ふきのとう代表)
3. 佃 祐世(弁護士・夫を自死で亡くす)
4. 自死遺族(ふきのとうの会メンバー)

第1部終了：16時
第2部開始：16時15分

第2部 ミニコンサートと追悼の時間

- ギター弾き語り フォークシンガー 木下徹
- 息子への想いを語る 竹井京子
「こんにちわ、30歳になったあなたに」
- 自死遺族は語る ”あなたへの想い”

自死遺族からのメッセージ

多くの命が自死でしかも私たちの身近で日々失われていっています でも
”自死”はいつまでも”まさか”なのです
何かふとしたことをきっかけに 私たちは心を病むこともあります
時には死へと追い詰められてしまうこともあります
自死と きちんと 向き合うことが社会の更なる犠牲者を生まないことへもつながるのではないのでしょうか

入場者全員に、自死遺族手記集「ごめんね」と「まさかの時にどうするか うつ病編」を無料提供します

主催：ふきのとうの会(枚方・自死遺族分かち合いの会)

特定非営利活動法人働く者のメンタルヘルス相談室

協力：しまね分かち合いの会・虹

後援：大阪府こころの健康総合センター・枚方市

連絡先

ふきのとうの会

090-6674-5120

JR西日本あんしん社会財団助成事業